



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社一家ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 武長 太郎
(コード：7127 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 高橋 広宜
(TEL. 047-711-0850)

特別損失の計上及び業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の業績予想値と本日公表の2024年3月期通期実績値について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社の保有する福利厚生施設の売却の決定及び、当社の連結子会社である株式会社一家ダイニングプロジェクトにおいて、一部店舗の収益性の低下による減損の兆候が認められたことにより「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2024年3月期第4四半期連結会計期間において、減損損失78,484千円を計上いたしました。

2. 2024年3月期通期業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	9,409	300	285	180	25.39
実績値 (B)	9,232	227	219	78	11.12
差異 (B-A)	△177	△72	△65	△101	
増減率 (%)	△1.9%	△24.2%	△23.0%	△56.2%	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	8,376	166	131	80	11.93

4. 業績予想値との差異が生じた理由

売上高につきましては、飲食事業は新型コロナウイルス感染症による影響も弱まり好調に推移いたしました。一方、ブライダル事業は婚礼の組人数・組単価は新型コロナウイルス感染症以前を上回る水準で推移したものの、マーケット全体における新規来館数は依然として回復に至っておらず、成約率は高い水準で推移しましたが、婚礼の施行数が想定より減少したことにより、予想値を下回りました。それにより、営業利益・経常利益を押し下げる結果となりました。

また、「1. 特別損失（減損損失）の計上」に記載した減損損失を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は78百万円と、予想値を下回る結果となりました。

以上